

平成 26 年度

奈良県健康長寿共同事業実行委員会 有識者会議

取組方策研究事業

高齢者の口腔機能等の実態把握

〔資料編〕

1 高齢者の口腔機能等の実態把握〔実施概要〕

- ① 老人クラブ会員を対象に、口腔と心身の健康状態を経年的に把握するための追加調査を実施。（平成 23 年度：歯科問診 平成 25 年度：歯科問診・SF-8）
- ② 平成 23 年度より高齢者の口腔機能等の実態を経年的に把握するため、地域巡回指導・普及啓発事業において実施した歯科健診及び集団口腔指導時のアンケート（歯科問診）、デイサービスでの体操と合わせた体力測定時のアンケートのデータを分析。
平成 24 年度より口腔と心身の健康状態の関係性を把握するため、新たに心身の健康に関するアンケート調査（SF-8）を追加。

- 調査対象者：①奈良県内の老人クラブ会員 ②地域巡回指導・普及啓発事業に参加した高齢者
- 調査方法：①老人クラブ会員追跡調査（郵送） ②地域巡回指導・普及啓発事業時に配付し、記入後、回収
- 調査時期：①老人クラブ会員追跡調査 1 回目：2012 年 1 月下旬～2 月上旬頃
2 回目：2013 年 12 月～2014 年 1 月中旬
②地域巡回指導・普及啓発事業（2012 年 11 月～2014 年 11 月）
SF-8（2012 年 12 月～2014 年 11 月）
- 協力機関：奈良県歯科医師会、奈良県老人クラブ連合会

■調査の回収状況

調査方法	総数	性別			年齢						
		男性	女性	無回答	65未満	65～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	平均値
老人クラブ アンケート	226 (H23)	174	52	0	12	85	79	25	23	2	75.1 歳
	122 (H25)	92	30	0	1	35	46	33	7	0	77.1 歳
口腔指導時 アンケート	713	220	460	33	28	355	168	82	69	11	75.0 歳
歯科健診	339	78	259	2	34	117	68	67	52	1	76.0 歳
体力測定時 アンケート	24	4	19	1	0	1	4	3	16	0	86.0 歳
合計	1,302	476	790	36	74	558	319	177	160	14	78.0 歳
SF-8	252	79	169	4	16	124	52	31	28	1	74.5 歳

※SF-8 については、歯科健診等と同時に実施しているため、別計として計上。

※平成 25 年の老人クラブ調査（追跡調査）122 件は、重複するため、合計から除外。

2 追跡調査における医療費等の分析

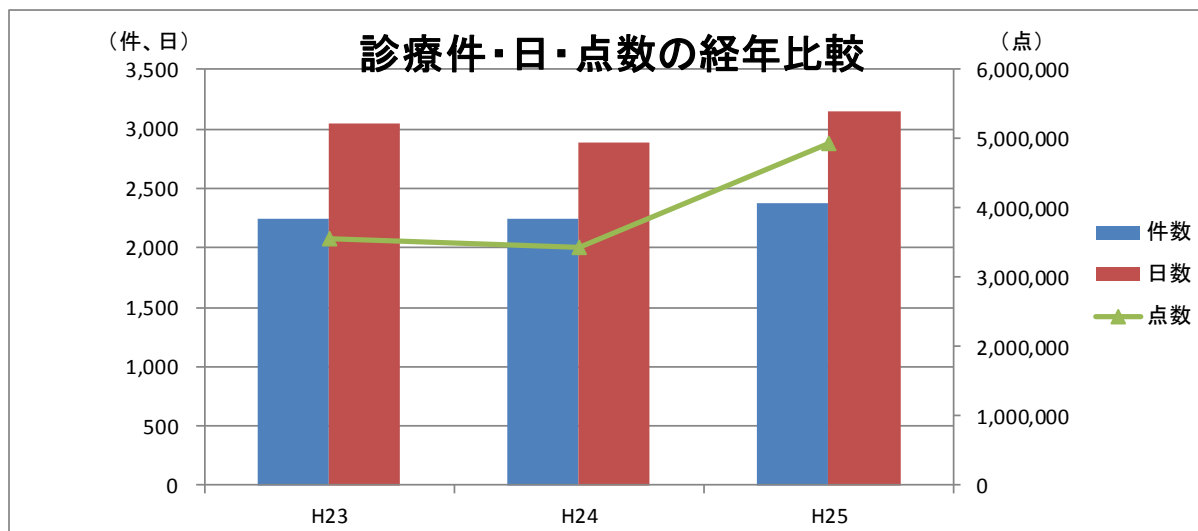
H23～H25年診療件・日・点数の比較

	件数	日数	点数	人数
H23	2,251	3,051	3,570,795	80
H24	2,251	2,890	3,439,096	87
H25	2,371	3,147	4,943,874	86

《参考資料》

H25年度にレセプトがない方2名の診療内容は下記の通りであった。
共にH23年度のレセプトもなく、健在とのこと。

	年齢	件数	日数	点数
H24	90	6	8	4,990
H24	66	2	3	1,770

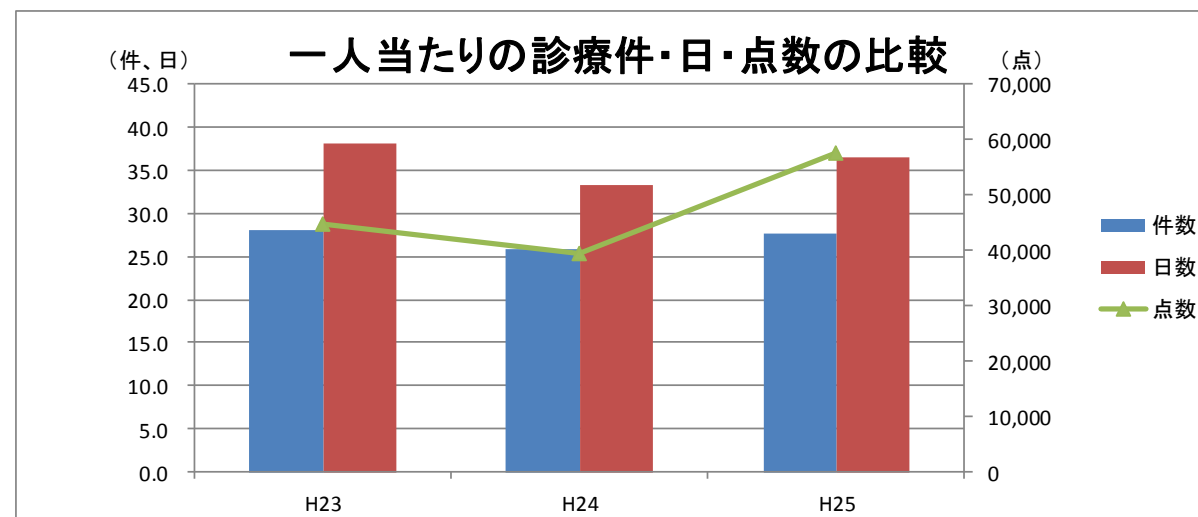


一人当たりの診療件・日・点数の比較

	件数	日数	点数
H23	28.1	38.1	44,635
H24	25.9	33.2	39,530
H25	27.6	36.6	57,487
増減	2.0	3.8	18,406

* 増減の計算 = H25年度 - H24年度

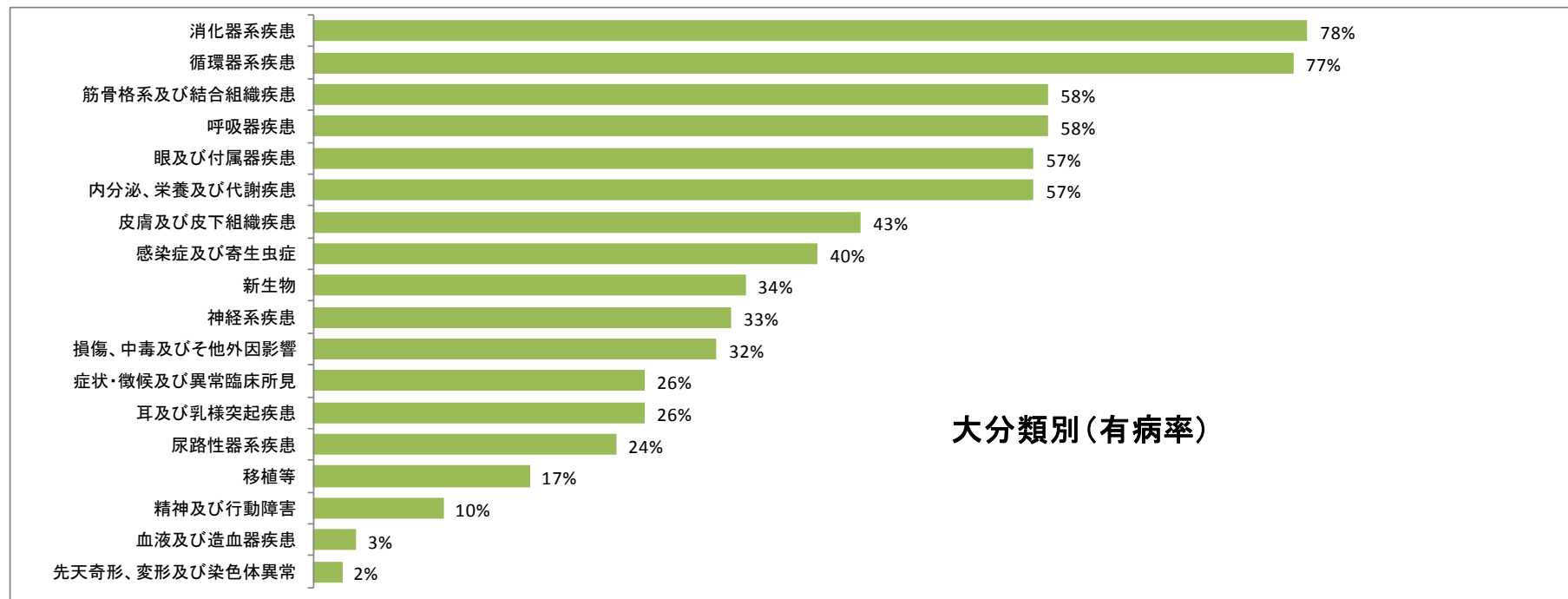
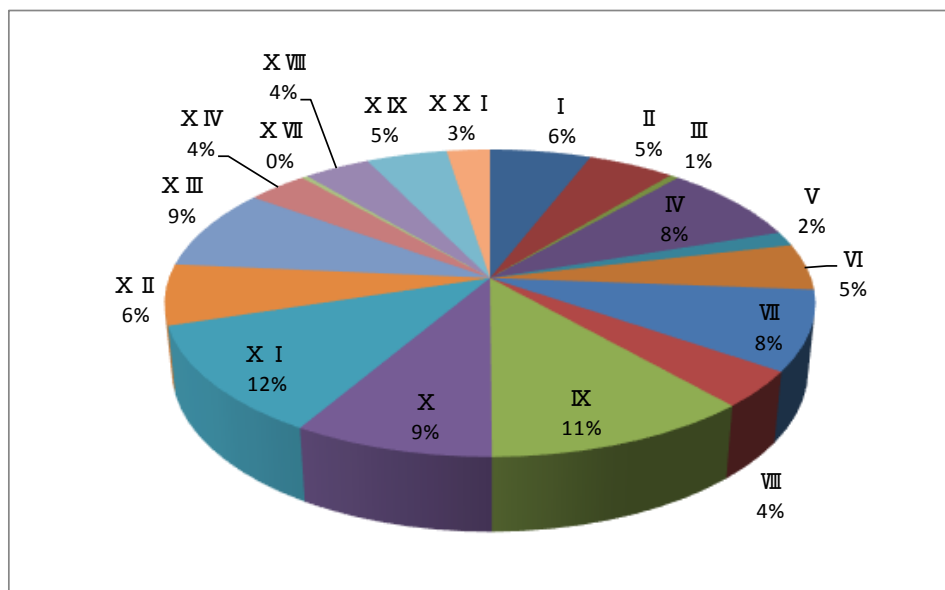
『個人情報提供、取得及び利用に関する同意書』に同意していただけた方の93名中、国保以外に加入が4名、レセプトが入手できなかった1名を除いた88名を対象とした。



大分類別の有病者数

88名のH23～H25年度のレセプトから抽出

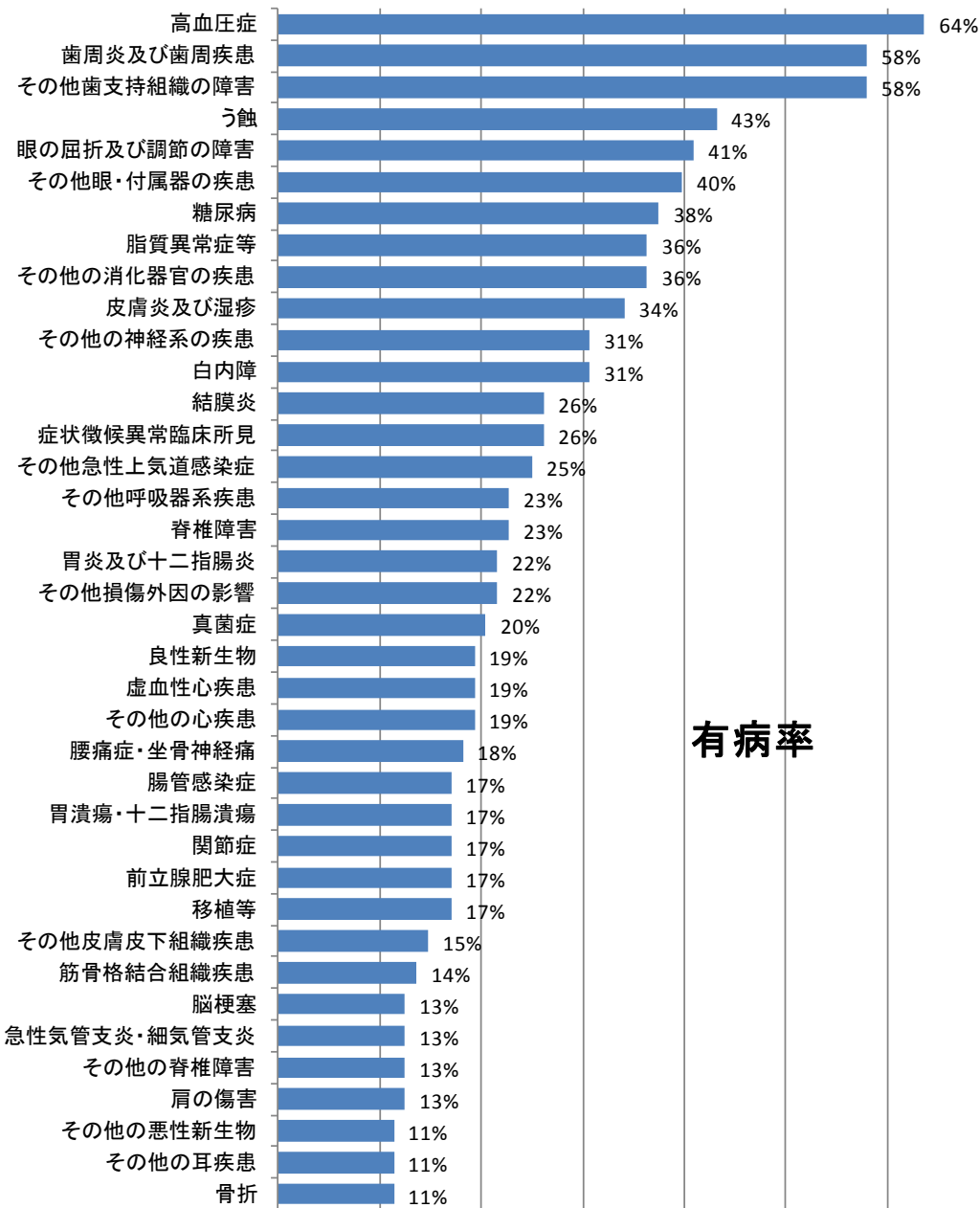
大分類	疾病分類項目	人数	割合	有病率
I	感染症及び寄生虫症	35	5.9%	39.8%
II	新生物	30	5.0%	34.1%
III	血液及び造血器疾患	3	0.5%	3.4%
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	50	8.4%	56.8%
V	精神及び行動障害	9	1.5%	10.2%
VI	神経系疾患	29	4.9%	33.0%
VII	眼及び付属器疾患	50	8.4%	56.8%
VIII	耳及び乳様突起疾患	23	3.9%	26.1%
IX	循環器系疾患	68	11.4%	77.3%
X	呼吸器疾患	51	8.6%	58.0%
X I	消化器系疾患	69	11.6%	78.4%
X II	皮膚及び皮下組織疾患	38	6.4%	43.2%
X III	筋骨格系及び結合組織疾患	51	8.6%	58.0%
X IV	尿路器系疾患	21	3.5%	23.9%
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	2	0.3%	2.3%
X VIII	症状・徴候及び異常臨床所見	23	3.9%	26.1%
X IX	損傷、中毒及びその他外因影響	28	4.7%	31.8%
X X I	移植等	15	2.5%	17.0%
総計		595	100.0%	676.1%



大分類別(有病率)

※疾病中分類コード別人数(88名)

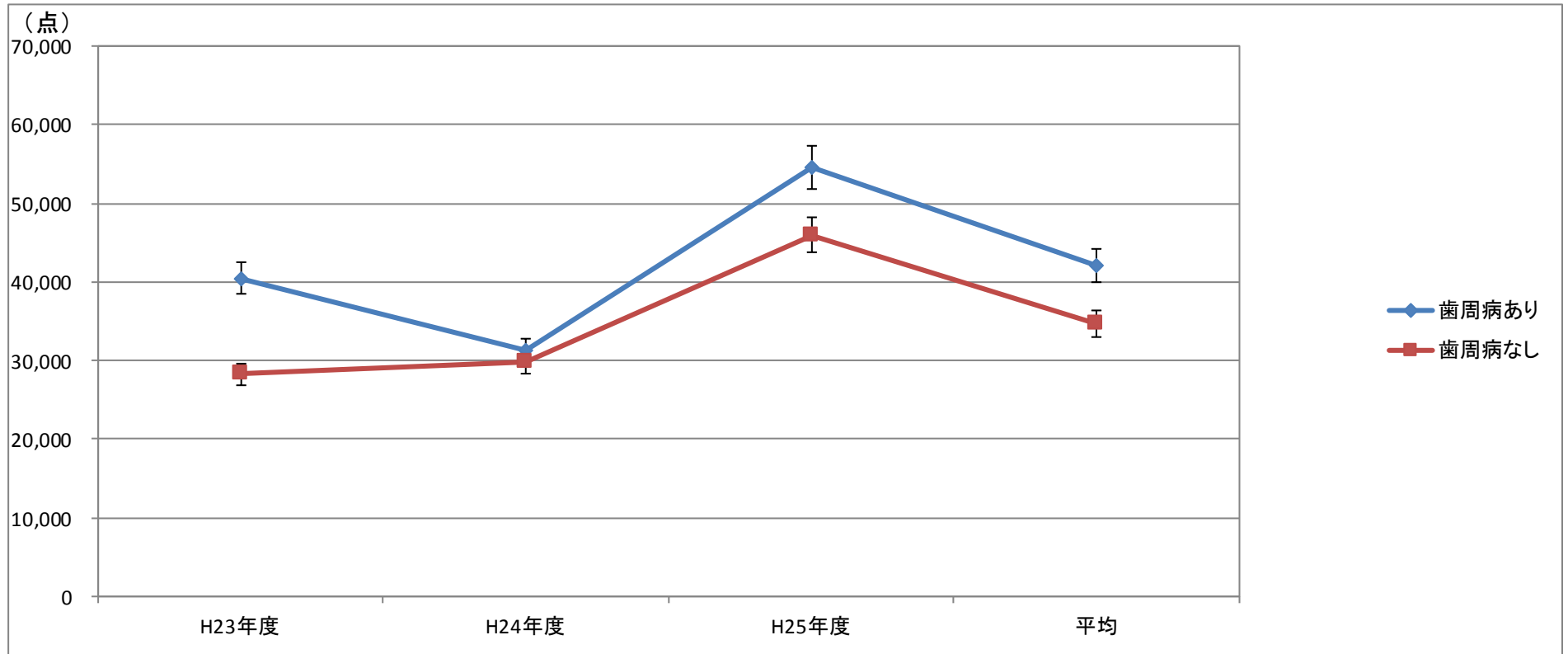
疾病分類コード	疾病分類項目	人数	疾病分類コード	人数
0901	高血圧症	56	0803	8
1102	歯周炎及び歯周疾患	51	1305	8
1103	その他歯支持組織の障害	51	0801	7
1101	う蝕	38	1001	6
0703	眼の屈折及び調節の障害	36	1404	6
0704	その他眼・付属器の疾患	35	0104	5
0402	糖尿病	33	0201	5
0403	脂質異常症等	32	0505	5
1112	その他の消化器官の疾患	32	1004	5
1202	皮膚炎及び湿疹	30	1009	5
0606	その他の神経系の疾患	27	0109	4
0702	白内障	27	0909	4
0701	結膜炎	23	0910	4
1800	症状徴候異常臨床所見	23	1109	4
1003	その他急性上気道感染症	22	1201	4
1011	その他呼吸器系疾患	20	1309	4
1303	脊椎障害	20	1904	4
1105	胃炎及び十二指腸炎	19	0105	3
1905	その他損傷外因の影響	19	0202	3
0107	真菌症	18	0205	3
0211	良性新生物	17	0301	3
0902	虚血性心疾患	17	0507	3
0903	その他の心疾患	17	0912	3
1306	腰痛症・坐骨神経痛	16	1110	3
0101	腸管感染症	15	1406	3
1104	胃潰瘍・十二指腸潰瘍	15	0401	2
1302	関節症	15	0504	2
1405	前立腺肥大症	15	0804	2
2100	移植等	15	0805	2
1203	その他皮膚皮下組織疾患	13	1006	2
1310	筋骨格結合組織疾患	12	1402	2
0906	脳梗塞	11	1403	2
1005	急性気管支炎・細気管支炎	11	1702	2
1307	その他の脊椎障害	11	0103	1
1308	肩の傷害	11	0203	1
0210	その他の悪性新生物	10	0208	1
0807	その他の耳疾患	10	0502	1
1901	骨折	10	0601	1
1002	急性咽頭炎・扁桃炎	9	0604	1
1007	慢性副鼻腔炎	9	0908	1
1008	気管支炎	9	1107	1
1010	喘息	9	1408	1
1301	炎症性多発性関節障害	9	(空白)	17
0802	その他の外耳疾患	8	総計	1060



有病率

歯周病有無別の年度別一人当たりの医療点数(各20人)

		H23年度	H24年度	H25年度	平均
点数	歯周病あり	40,469	31,221	54,626	42,105
	歯周病なし	28,238	29,907	46,007	34,717



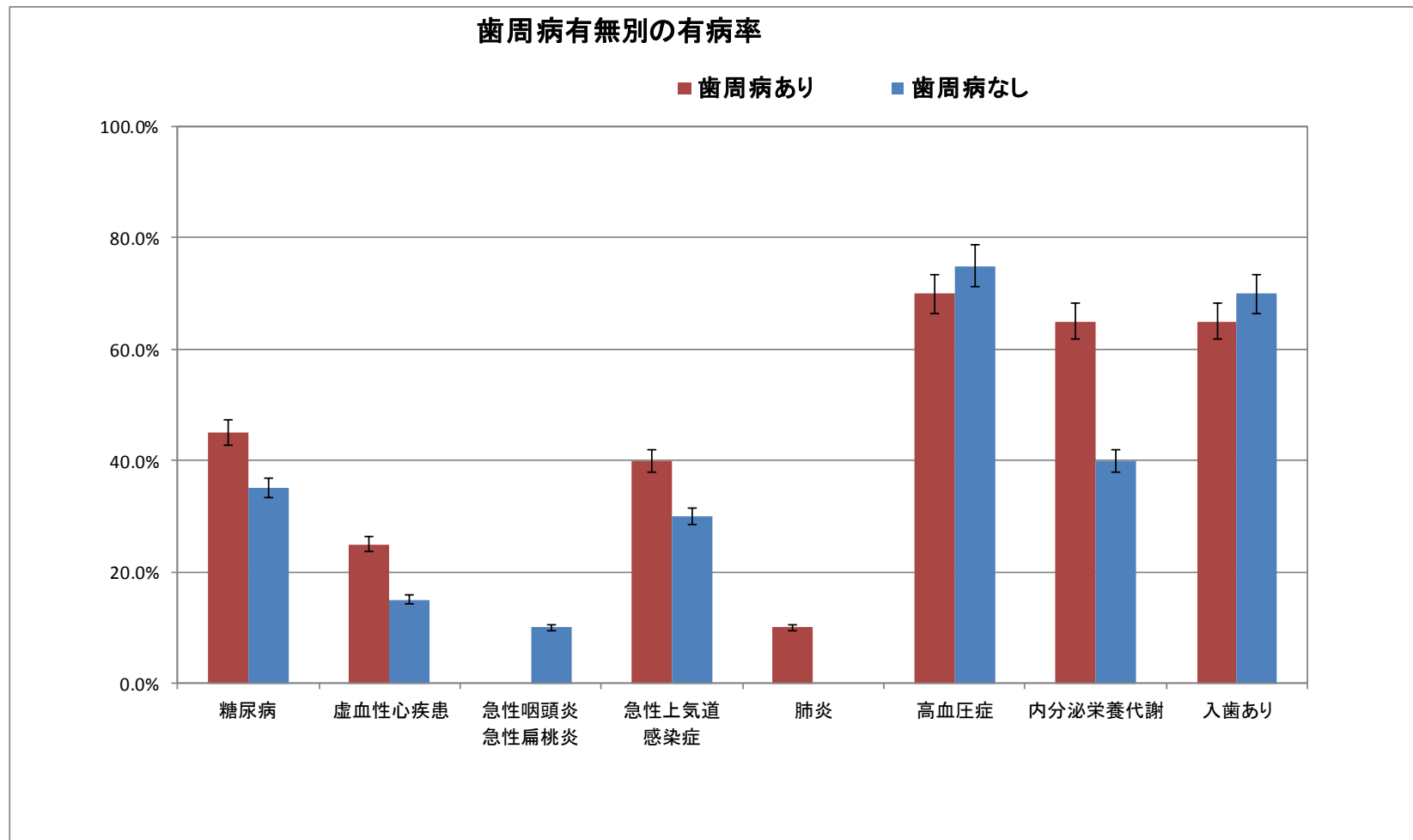
※H23年にレセプトがない8人を除いて80人を母数として分析を行っています。

※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

※エラーバーについては、95%の確率でこの範囲内の結果になることを示しており、このエラーバーの重なりがない結果については、有意な差がみられることを示しています。(以下の結果についても同様)

歯周病の状況別の疾病別有病数(各20人)

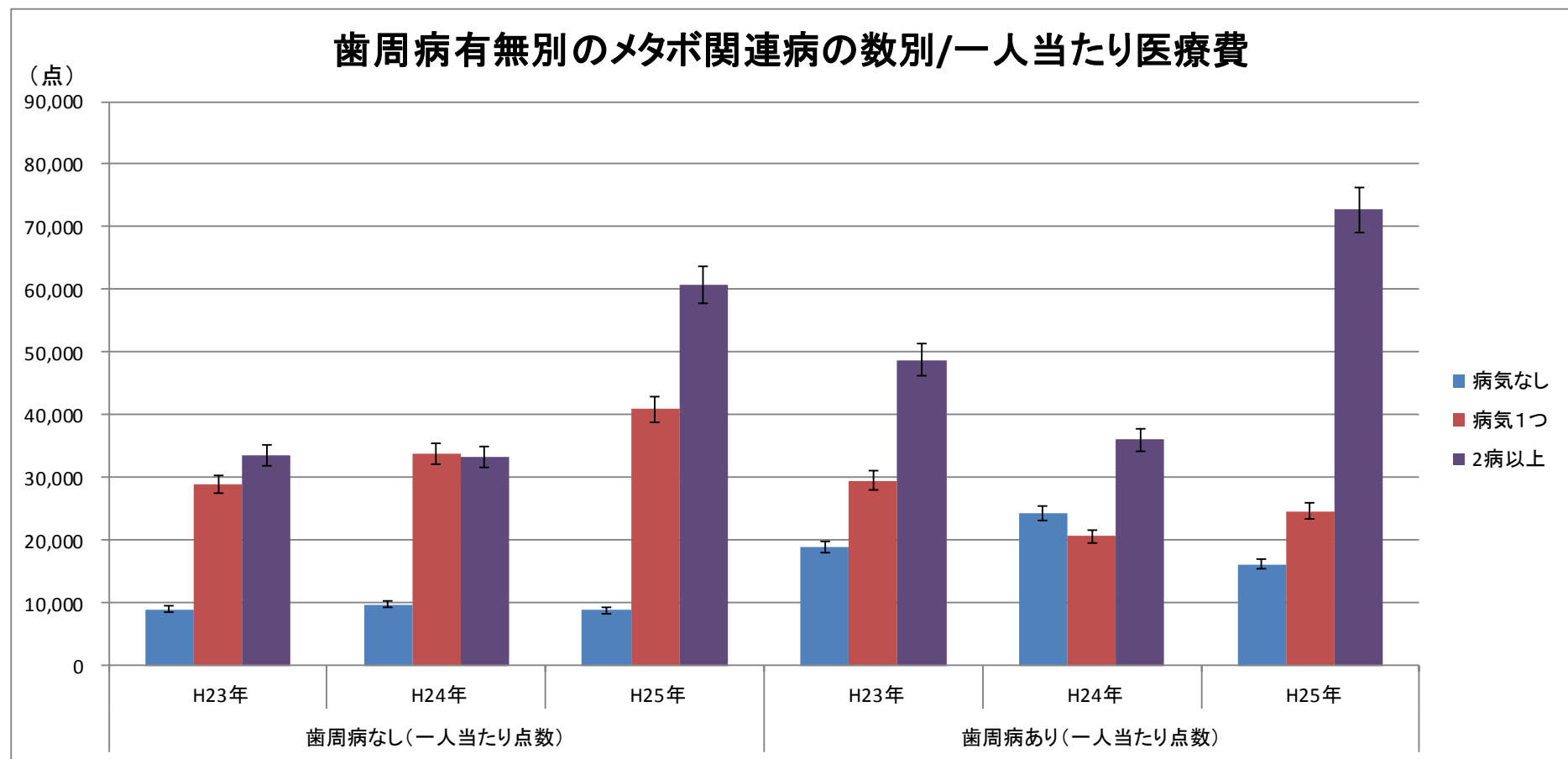
		糖尿病	虚血性心疾患	急性咽頭炎 急性扁桃炎	急性上気道 感染症	肺炎	高血圧症	内分泌栄養 代謝	入歯あり	平均点数
人数	歯周病あり	9	5	0	8	2	14	13	13	42,105
	歯周病なし	7	3	2	6	0	15	8	14	34,717
割合	歯周病あり	45.0%	25.0%	0.0%	40.0%	10.0%	70.0%	65.0%	65.0%	
	歯周病なし	35.0%	15.0%	10.0%	30.0%	0.0%	75.0%	40.0%	70.0%	



※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

歯周病有無別とメタボ関連病(高血圧症・糖尿病・脂質異常症)の数との関係

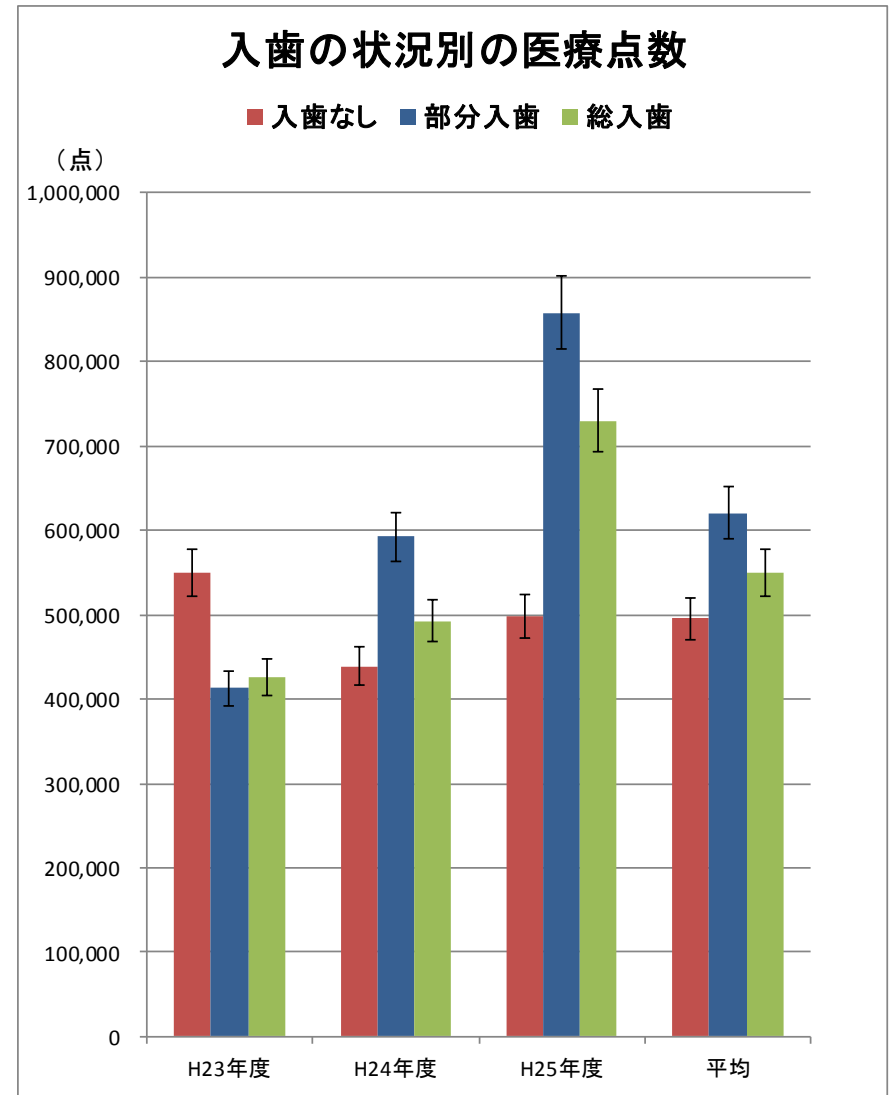
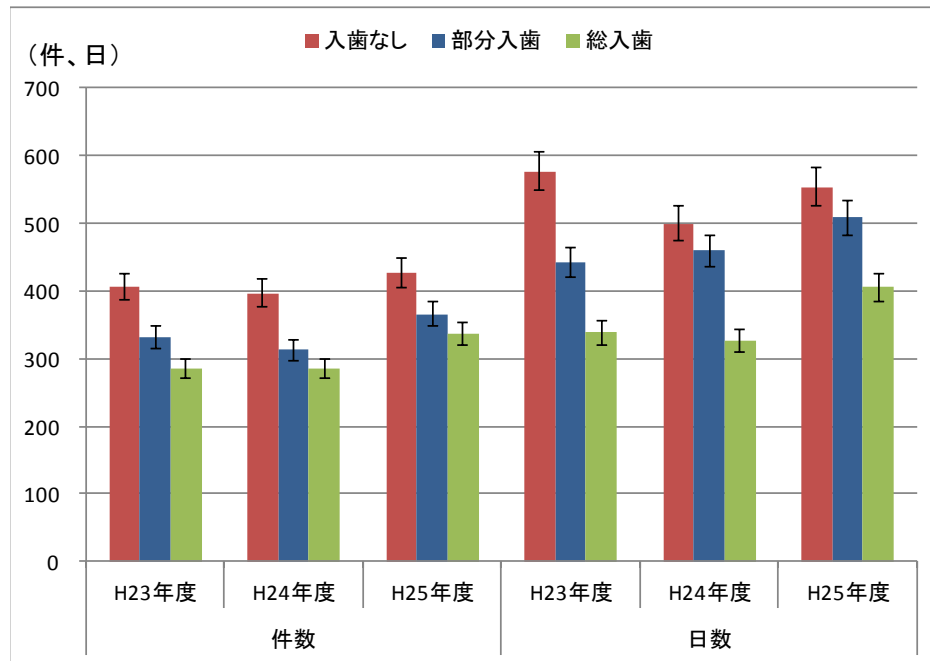
	歯周病なし(一人当たり点数)				歯周病あり(一人当たり点数)				平均(一人当たり点数)			
	人数	H23年	H24年	H25年	人数	H23年	H24年	H25年	人数	H23年	H24年	H25年
病気なし	3	9,031	9,805	8,821	3	18,873	24,365	16,185	6	13,952	17,085	12,503
病気1つ	7	28,952	33,849	40,926	4	29,546	20,689	24,628	11	29,168	29,063	35,000
2病以上	10	33,501	33,178	60,720	13	48,814	36,044	72,727	23	42,156	34,798	67,507



※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

入歯の状況別の年度別一人当たりの医療点数(各15人)

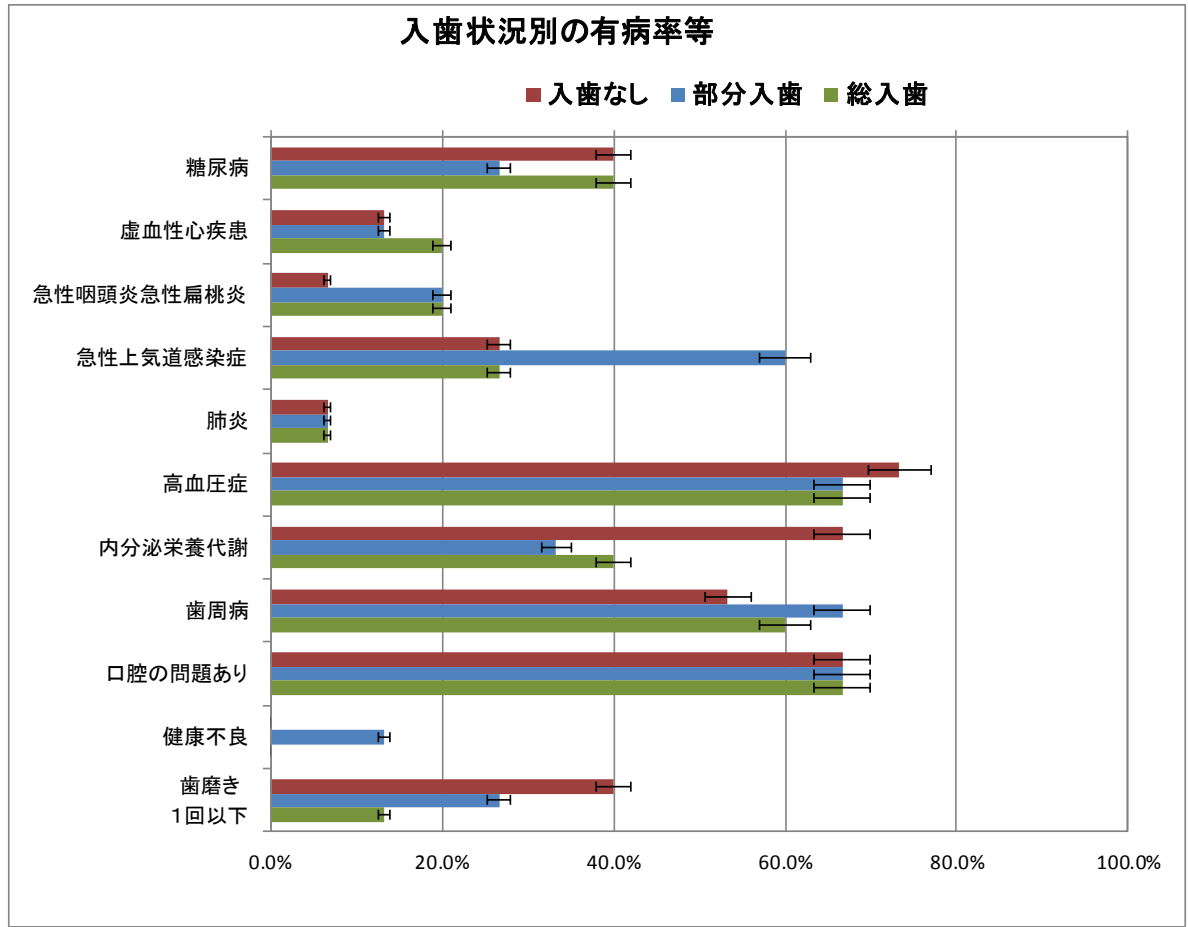
		入歯なし	部分入歯	総入歯	合計
件数	H23年度	406	331	286	1,023
	H24年度	397	313	285	995
	H25年度	427	366	337	1,130
	平均	410	337	303	1,049
日数	H23年度	577	442	338	1,357
	H24年度	500	460	327	1,287
	H25年度	554	508	405	1,467
	平均	544	470	357	1,370
点数	H23年度	549,165	412,682	425,905	1,387,752
	H24年度	439,037	592,074	492,306	1,523,417
	H25年度	497,935	857,471	729,713	2,085,119
	平均	495,379	620,742	549,308	1,665,429



※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

入歯の状況別の疾病別有病数(各15人)

		糖尿病	虚血性心疾患	急性咽頭炎 急性扁桃炎	急性上気道 感染症	肺炎	高血圧症	内分泌栄養 代謝	歯周病	口腔の問題 あり	健康不良	歯磨き 1回以下	平均点数
人数	入歯なし	6	2	1	4	1	11	10	8	10	0	6	99,076
	部分入歯	4	2	3	9	1	10	5	10	10	2	4	124,148
	総入歯	6	3	3	4	1	10	6	9	10	0	2	109,862
割合	入歯なし	40.0%	13.3%	6.7%	26.7%	6.7%	73.3%	66.7%	53.3%	66.7%	0.0%	40.0%	
	部分入歯	26.7%	13.3%	20.0%	60.0%	6.7%	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	13.3%	26.7%	
	総入歯	40.0%	20.0%	20.0%	26.7%	6.7%	66.7%	40.0%	60.0%	66.7%	0.0%	13.3%	

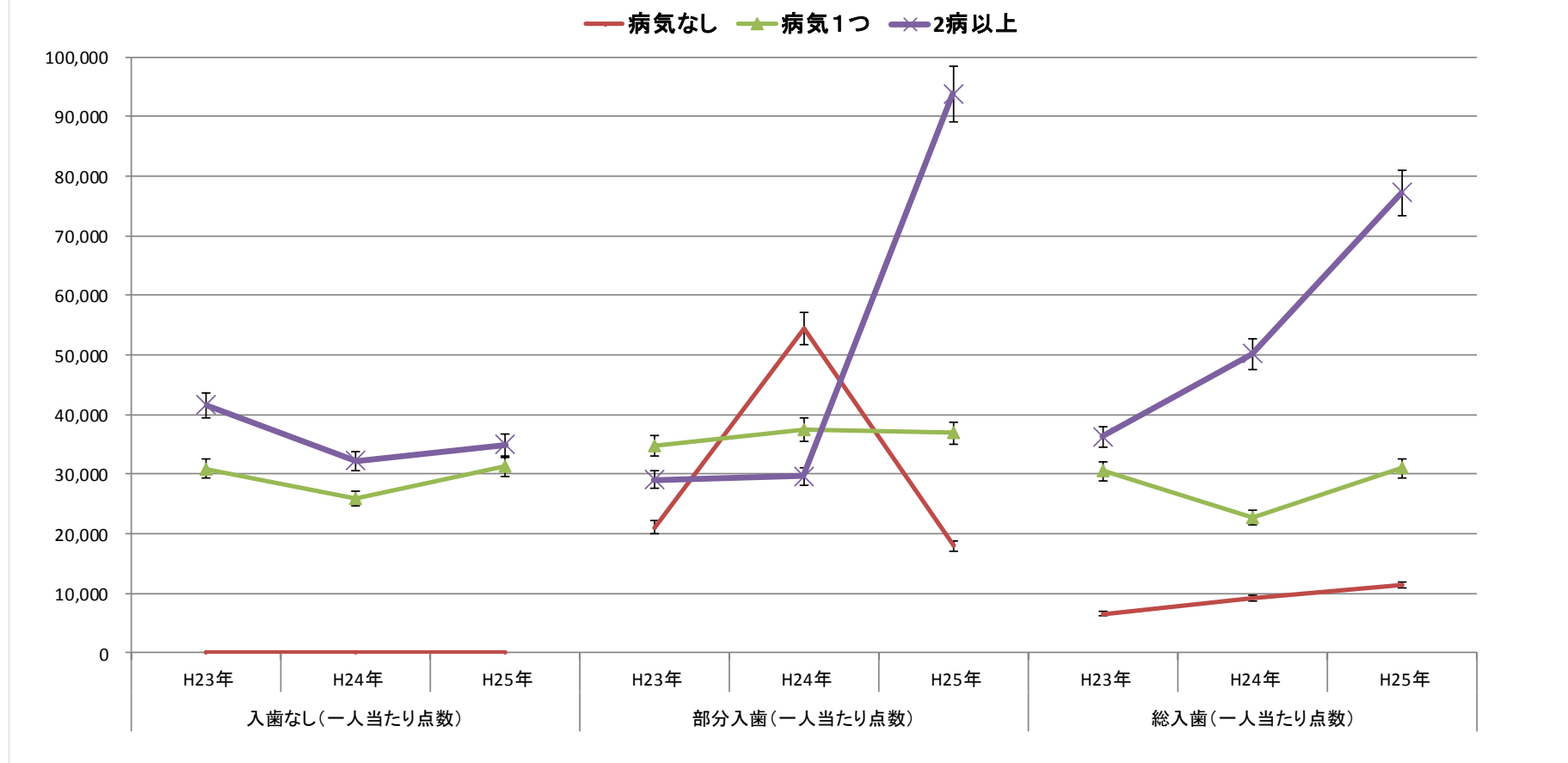


※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

入歯の状況別とメタボ関連病(高血圧症・糖尿病・脂質異常症)の数との関係

	入歯なし(一人当たり点数)			部分入歯(一人当たり点数)			総入歯(一人当たり点数)					
	人数	H23年	H24年	H25年	人数	H23年	H24年	H25年	人数	H23年	H24年	H25年
病気なし	0	0	0	0	5	21,060	54,465	17,996	3	6,571	9,147	11,361
病気1つ	7	30,922	25,885	31,265	3	34,705	37,467	36,856	5	30,471	22,743	30,998
2病以上	8	41,589	32,231	34,885	7	29,038	29,621	93,846	7	36,262	50,164	77,234

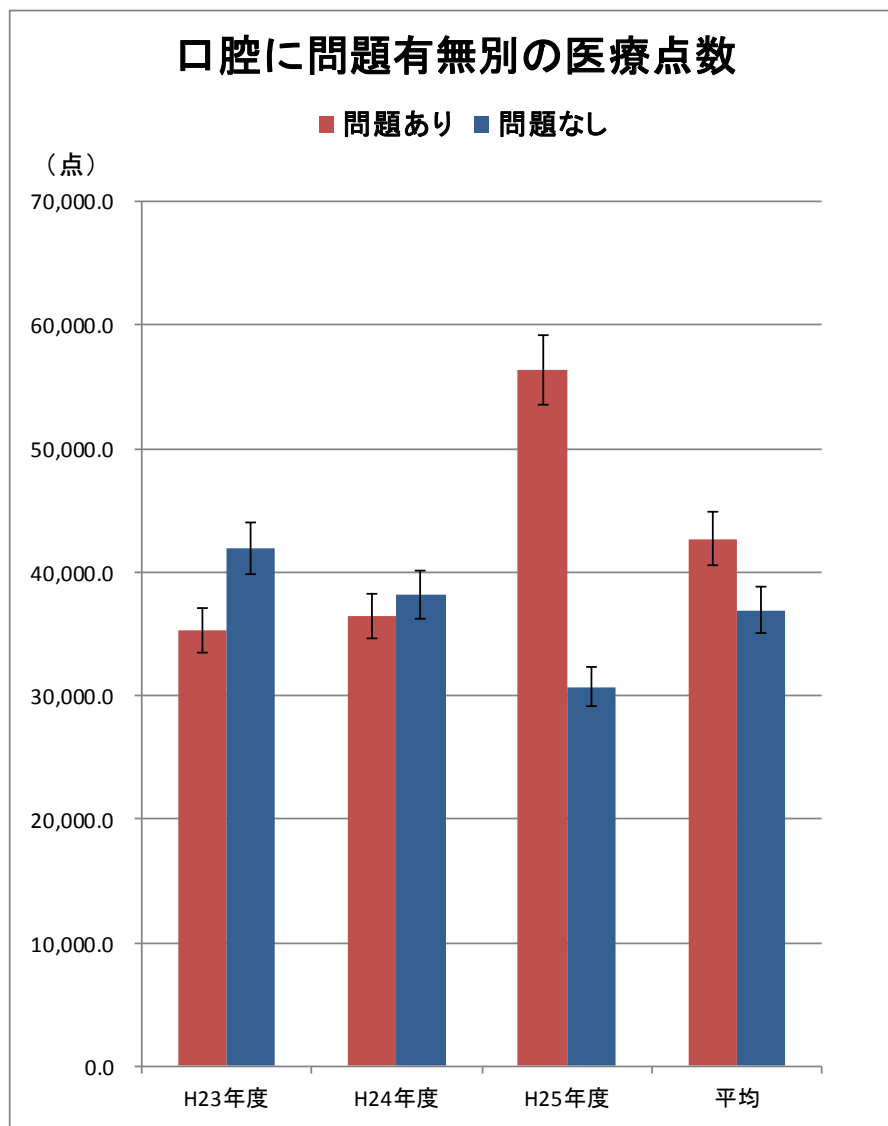
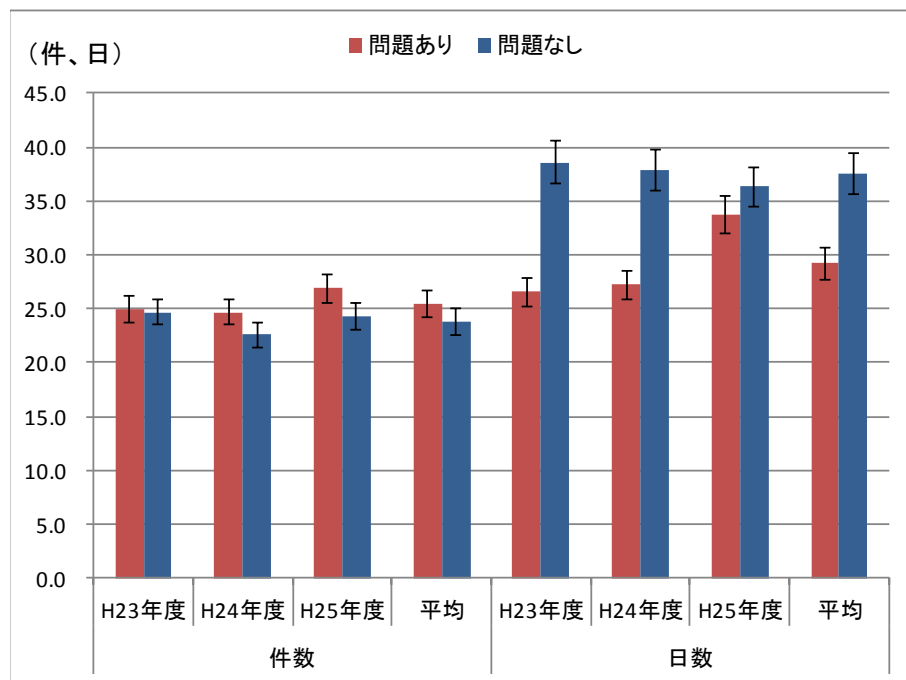
入歯の状況別/病気の数と一人当たりの点数の関係



※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

口腔状態に問題の有無別の年度別一人当たりの医療点数(各20人)

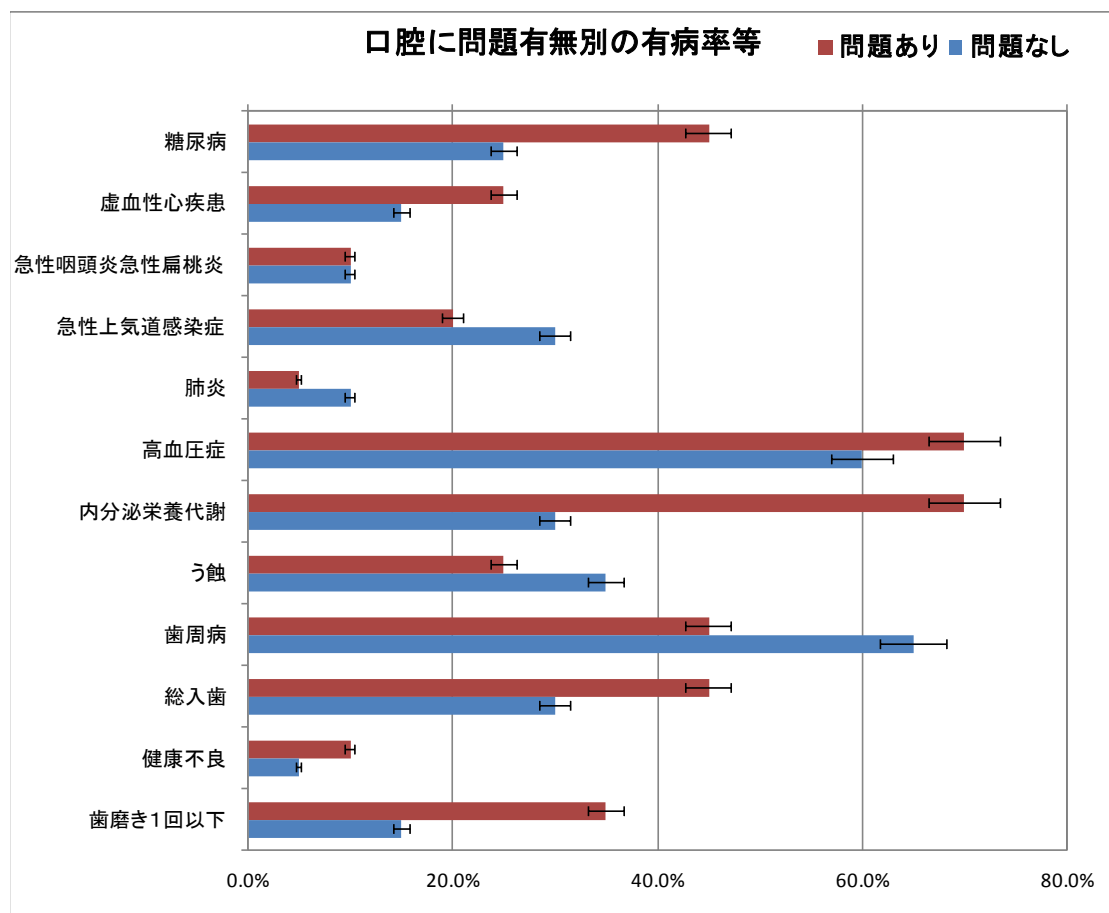
		問題あり	問題なし	平均
件数	H23年度	24.9	24.7	24.8
	H24年度	24.7	22.6	23.7
	H25年度	26.9	24.3	25.6
	平均	25.5	23.8	24.7
日数	H23年度	26.6	38.6	32.6
	H24年度	27.2	37.8	32.5
	H25年度	33.7	36.3	35.0
	平均	29.2	37.5	33.4
点数	H23年度	35,290.8	41,866.9	38,578.9
	H24年度	36,459.4	38,197.5	37,328.5
	H25年度	56,390.4	30,738.1	43,564.3
	平均	42,713.5	36,934.2	39,823.9



※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

口腔に問題の有無別の疾病別有病数(各20人)

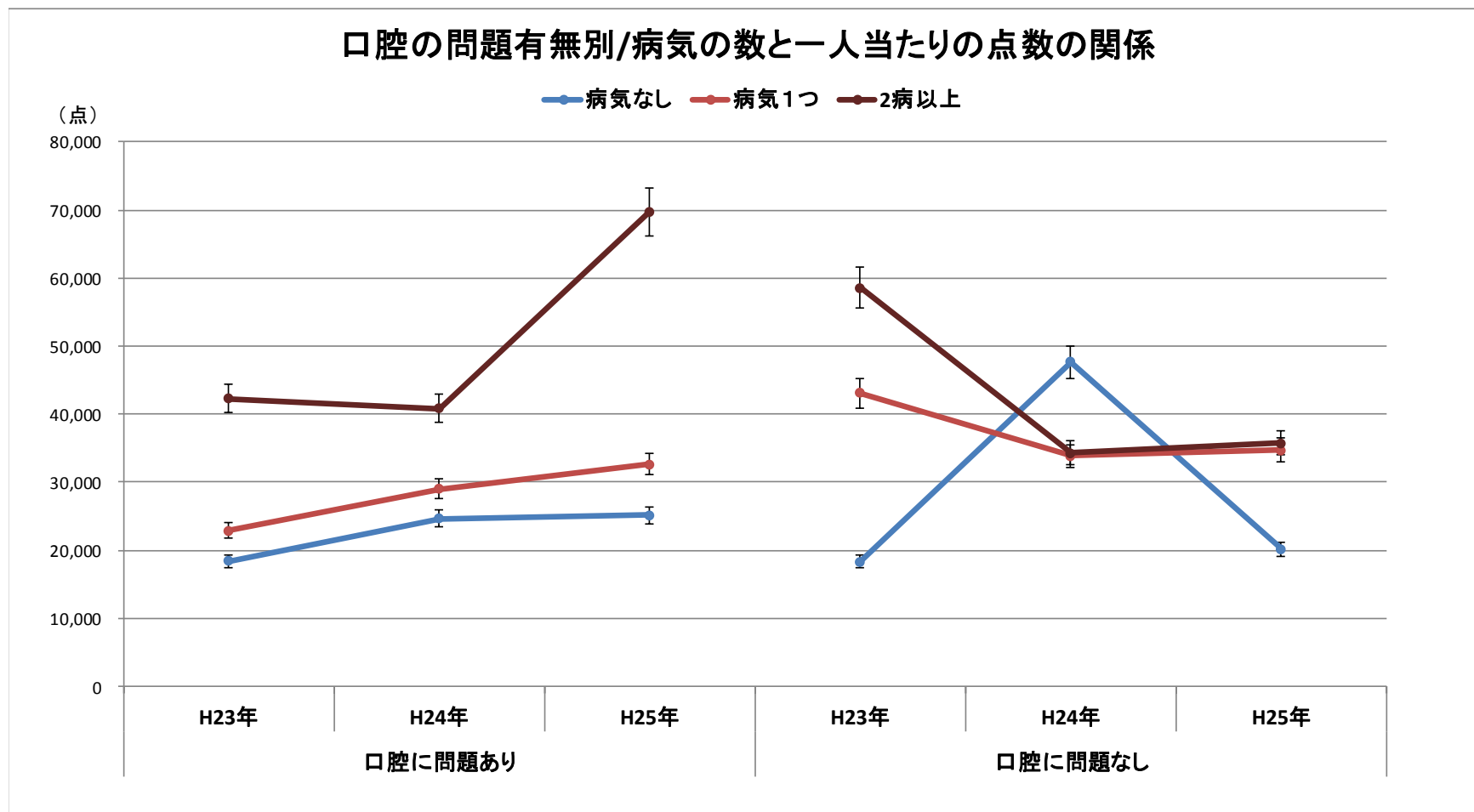
		糖尿病	虚血性心疾患	急性咽頭炎 急性扁桃炎	急性上気道 感染症	肺炎	高血圧症	内分泌栄養 代謝	う蝕	歯周病	総入歯	健康不良	歯磨き1回 以下	平均点数
人数	問題あり	9	5	2	4	1	14	14	5	9	9	2	7	42,714
	問題なし	5	3	2	6	2	12	6	7	13	6	1	3	36,934
	総計	14	8	4	10	3	26	20	12	22	15	3	10	平均偏差値
割合	問題あり	45.0%	25.0%	10.0%	20.0%	5.0%	70.0%	70.0%	25.0%	45.0%	45.0%	10.0%	35.0%	50.45
	問題なし	25.0%	15.0%	10.0%	30.0%	10.0%	60.0%	30.0%	35.0%	65.0%	30.0%	5.0%	15.0%	49.55
	平均	35.0%	20.0%	10.0%	25.0%	7.5%	65.0%	50.0%	30.0%	55.0%	37.5%	7.5%	25.0%	



※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

口腔の問題の有無状況とメタボ関連病(高血圧症・糖尿病・脂質異常症)の数との関係

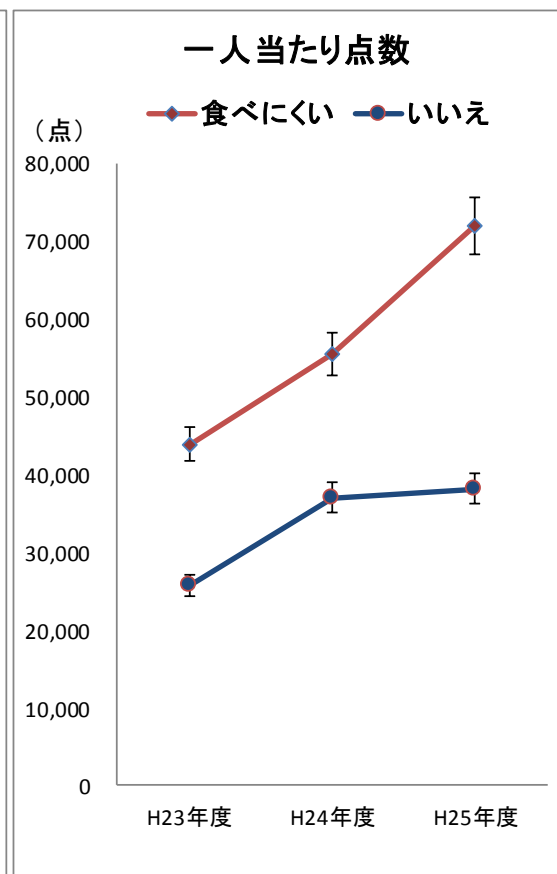
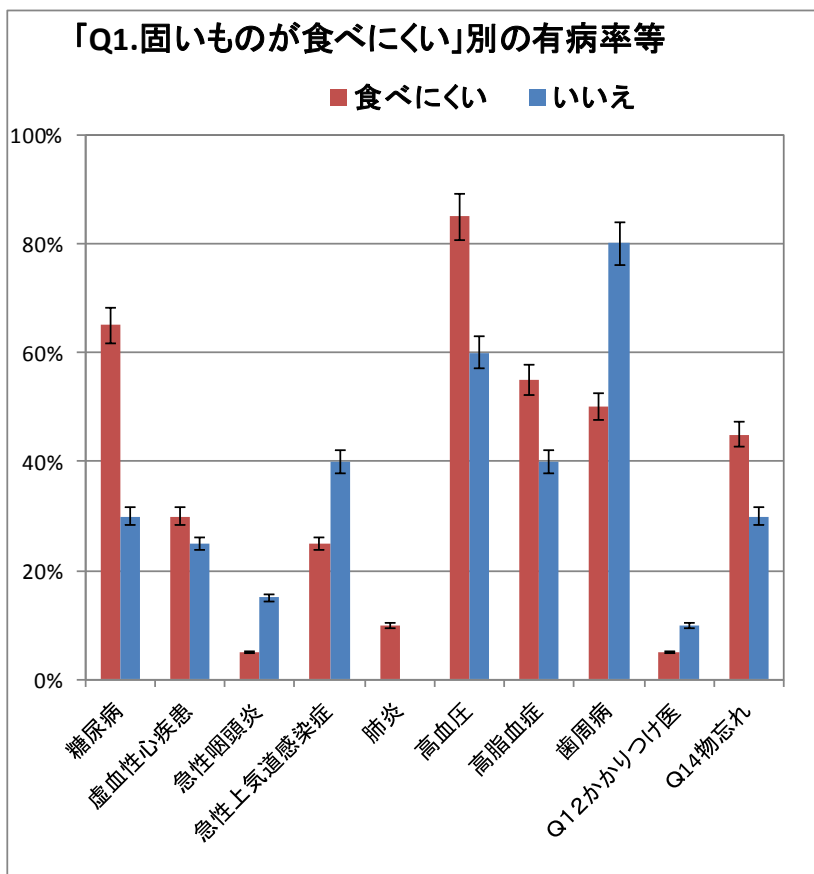
	口腔の問題あり					口腔の問題なし				
	人数	H23年一人 当たり点数	H24年一人 当たり点数	H25年一人 当たり点数	一人当たり 平均点数	人数	H23年一人 当たり点数	H24年一人 当たり点数	H25年一人 当たり点数	一人当たり 平均点数
病気なし	1	18,439	24,615	25,113	22,722	6	18,367	47,712	20,134	28,738
病気1つ	6	22,887	29,003	32,669	28,186	6	43,077	33,826	34,685	37,196
2病以上	13	42,312	40,812	69,745	50,956	8	58,584	34,340	35,731	42,885
平均	20	35,291	36,459	56,390	42,714	20	41,867	38,198	30,738	36,934



※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

Q1.「固いものが食べにくい」の状況別の疾病別有病数(各20人)

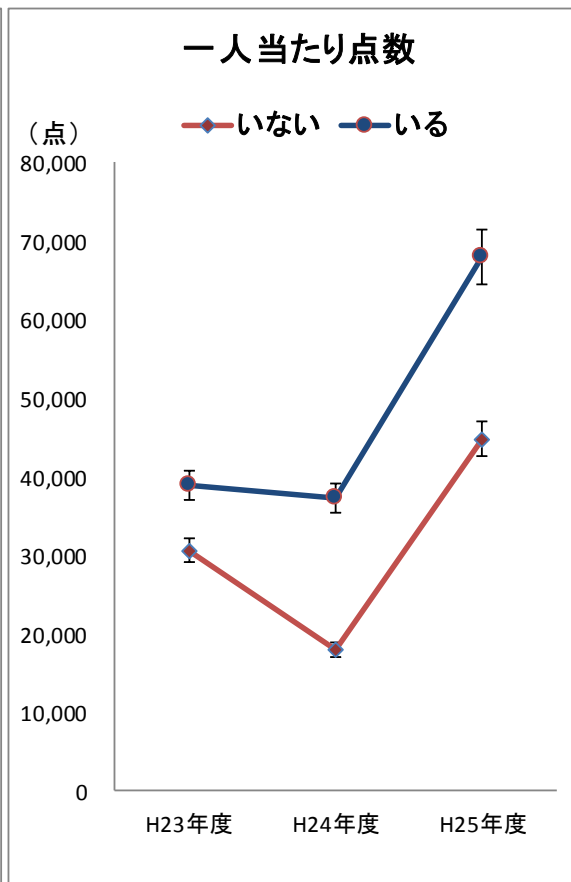
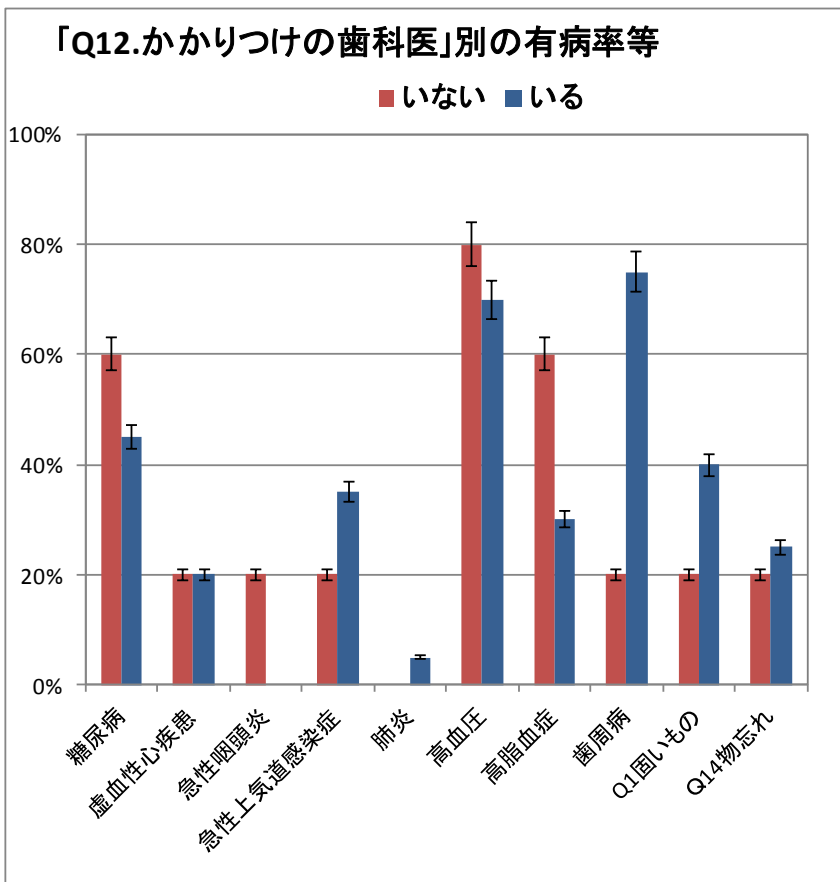
		人数	糖尿病	虚血性 心疾患	急性咽 頭炎	急性上 気道感 染症	肺炎	高血圧	高脂血 症	歯周病	Q12か かりつ け医	Q14物 忘れ	一人当たり点数			
													H23年度	H24年度	H25年度	3年間の 平均
人数	食べにくい	20	13	6	1	5	2	17	11	10	1	9	43,913	55,402	71,933	57,083
	いいえ	20	6	5	3	8	0	12	8	16	2	6	25,714	37,034	38,153	33,634
割合	食べにくい	100%	65%	30%	5%	25%	10%	85%	55%	50%	5%	45%				
	いいえ	100%	30%	25%	15%	40%	0%	60%	40%	80%	10%	30%				



※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

Q12「かかりつけ歯科医」の状況別の疾病別有病数(5人对20人)

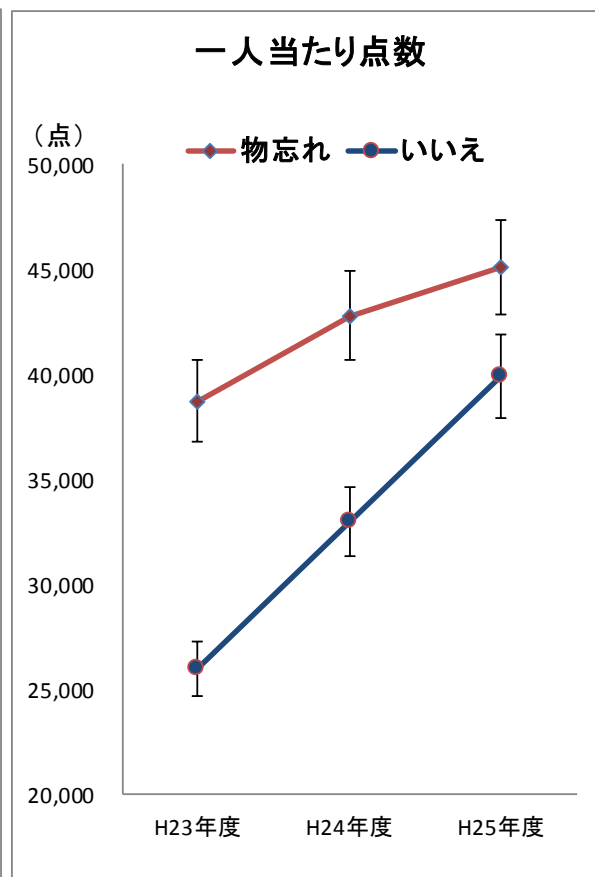
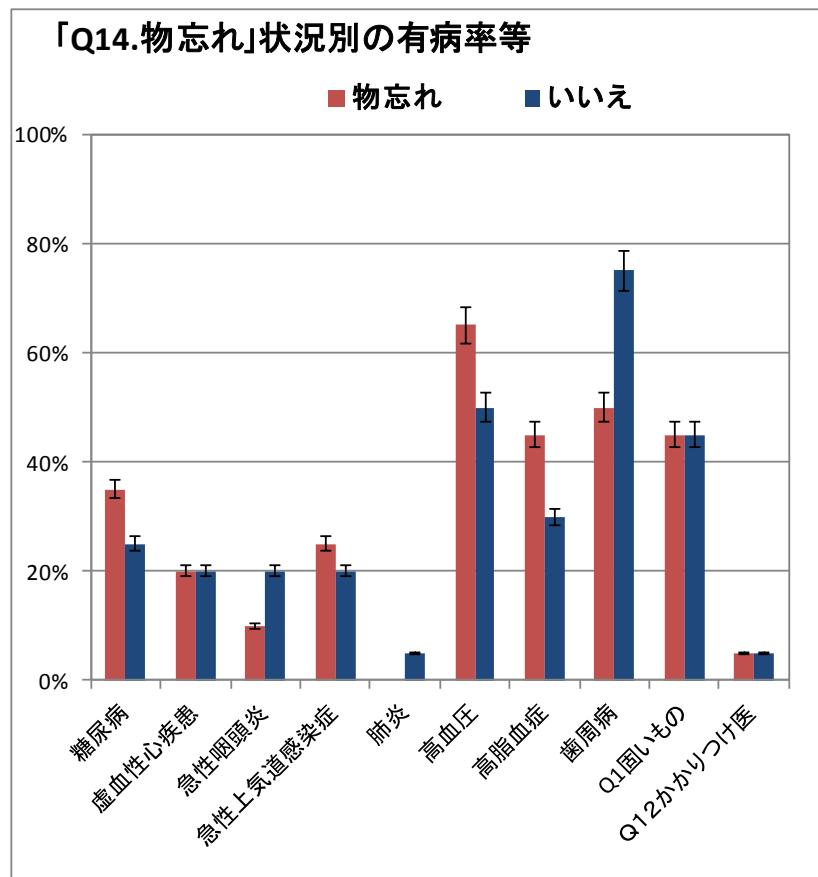
													一人当たり点数			
		人数	糖尿病	虚血性心疾患	急性咽頭炎	急性上気道感染症	肺炎	高血圧	高脂血症	歯周病	Q1固いもの	Q14物忘れ	H23年度	H24年度	H25年度	3年間の平均点数
人数	いない	5	3	1	1	1	0	4	3	1	1	1	30,628	17,951	44,779	31,119
	いる	20	9	4	0	7	1	14	6	15	8	5	38,912	37,359	68,020	48,097
割合	いない	100%	60%	20%	20%	20%	0%	80%	60%	20%	20%	20%				
	いる	100%	45%	20%	0%	35%	5%	70%	30%	75%	40%	25%				



※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

Q14「物忘れ」の状況別の疾病別有病数(各20人)

													一人当たり点数			
	物忘れ マッチング 各20人	人数	糖尿病	虚血性 心疾患	急性咽 頭炎	急性上 気道感 染症	肺炎	高血圧	高脂血 症	歯周病	Q1固い もの	Q12か かりつ け医	H23年度	H24年度	H25年度	3年間の 平均点数
人数	物忘れ	20	7	4	2	5	0	13	9	10	9	1	38,731	42,804	45,107	42,214
	いいえ	20	5	4	4	4	1	10	6	15	9	1	25,966	32,956	39,903	32,942
割合	物忘れ	100%	35%	20%	10%	25%	0%	65%	45%	50%	45%	5%				
	いいえ	100%	25%	20%	20%	20%	5%	50%	30%	75%	45%	5%				



※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が同一年齢で構成されるように再集計しています。

3 口腔と心身の健康状態についての調査分析結果のまとめ

- 咀嚼機能や飲み込む機能、口の状態が悪い人のほうが、お口の状態に不満を感じる人が多く、またQOL（生活の質）も低下している傾向がある。
- 歯の噛み合わせが少ない人のほうが、咀嚼機能に関する状態が悪く、さらには飲み込みにくさや食べこぼしなどの状態もあり、飲み込む機能の低下がみられ、お口の状態に不満を感じていることが考えられる。
- 咀嚼機能の低下は、物忘れをはじめ、さらには心身の健康状態の悪化にも影響することがみられた。

●歯の噛み合わせが少ない人は咀嚼だけでなく、他の機能が低下している傾向がある

- 歯の噛み合わせがよくない人のほうが、咀嚼機能に加え、飲み込む機能の低下がうかがえる。
- 歯の噛み合わせが多い人よりも少ない人のほうが、外出頻度が少なくなっている。

●口の中の状態がよい人のほうが「噛むこと」や口腔衛生状態がよい傾向がある

- お口の状態に不満を感じている人は、口臭や口がかわきやすい等の『口の中の状態』や固いものが食べにくい、奥歯で噛みしめられない等の『噛むこと』、むせることや食べこぼしなどの『飲み込むこと』に不満を感じていることがうかがえる。
- お口の状態に不満を感じている人のほうが、歯周病や口腔乾燥、口臭があるなど、口腔衛生状態が悪くなっている。
- お口の状態に満足している人のほうが、義歯なし状態で臼歯部の咬合がある人の割合が高くなっている。

●物忘れがひどい人のほうが固いものが食べにくく、噛むことと物忘れの関係性がみられる

- 物忘れがひどいと感じる人のほうが「固いものが食べにくい」「口がかわきやすい」などの割合が高くなっている。

●全体的な傾向として、「身体機能」で比較的状态の悪い人がみられる

- 「精神的サマリースコア（SF-8の精神に関する設問から算出した平均点数）」が国民基準及び国民標準を上回っている。
- 「身体機能」「日常役割機能（身体）」の得点で国民基準を下回っており、「身体的サマリースコア（SF-8の身体に関する設問から算出した平均点数）」も国民基準を下回っている。

●「食事に時間がかかる」「物忘れがひどい」「毎日が楽しくない」で身体的サマリースコアとの関係性がうかがえる

- 口腔状態と心身の健康状態との関係性では、「食事に時間がかかる」「奥歯で噛みしめられない」といった『噛むこと』の状態が悪い人のほうが身体の状態が悪くなっている。
- 「物忘れがひどい」「毎日が楽しくない」でも身体的な状態の悪さがみられ、身体状態との相関性がうかがえる。

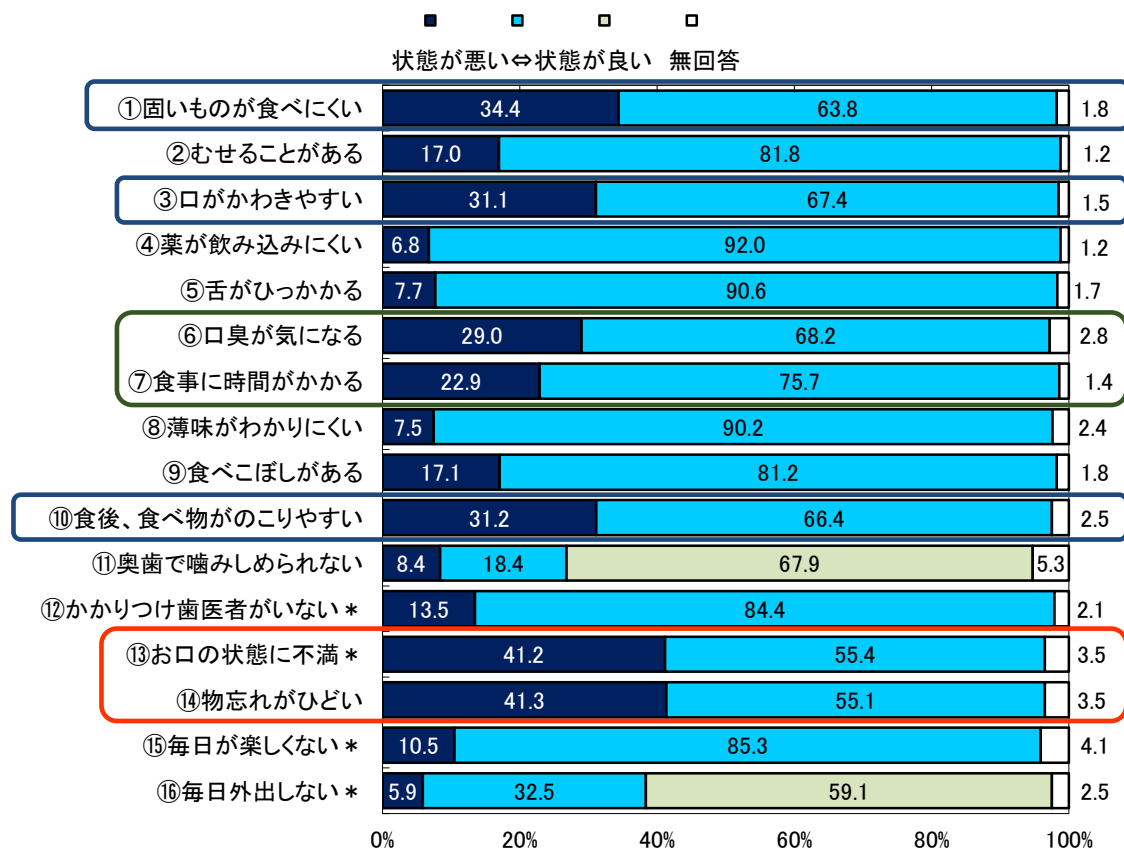
●「かかりつけ歯科医師がない」で身体的サマリースコア、精神的サマリースコアとの関係性がうかがえる

- 「食事に時間がかかる」「奥歯で噛みしめられない」といった『噛むこと』でも「精神的サマリースコア」で有意な差がみられており、噛むことは精神的な状態の悪化にもつながることがうかがえる。

4 口腔と心身の健康状態についての調査分析

① 歯科健診問診項目の回答分布

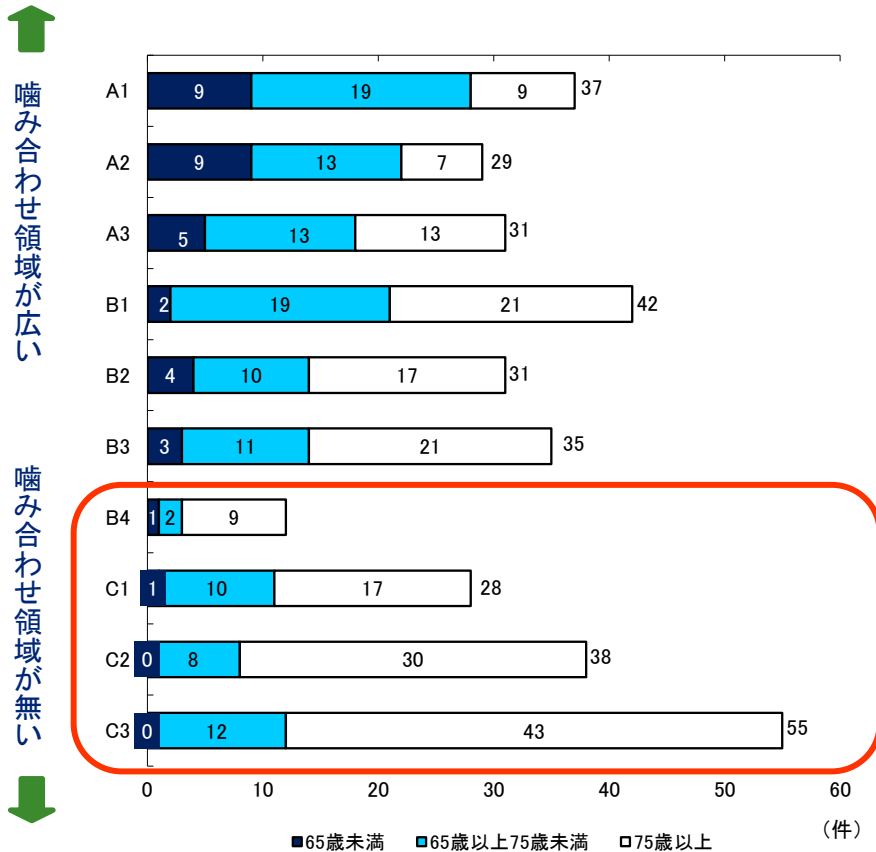
【歯科健診票問診項目の回答分布(全体)1,302人】



「お口の状態に不満」
 「物忘れがひどい」と
 答えた人が4割台、
 「固いものが食べにくい」
 「口がかわきやすい」
 「食後、食べ物がのこりやすい」
 と答えた人が3割台、
 「口臭が気になる」
 「食事に時間がかかる」と
 答えた人が2割台となっている。

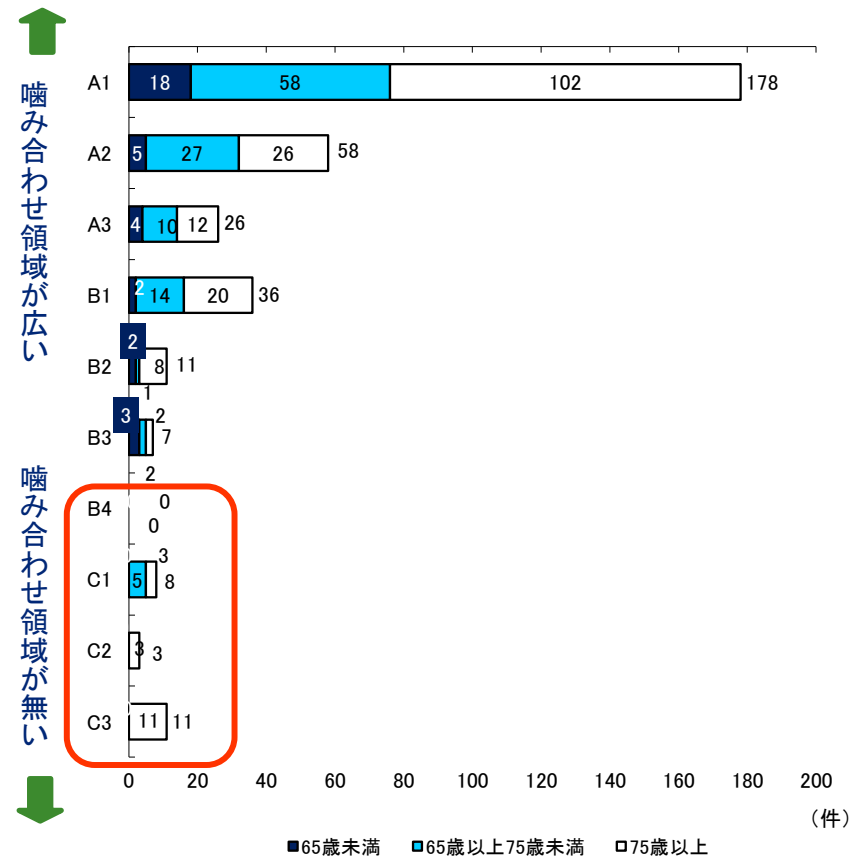
② 年齢別噛み合わせの状況

【年齢別噛み合わせの状況・自歯のみ(回答者338人)】



「自歯による噛み合わせが無い」が4割近く。

【年齢別噛み合わせの状況・自歯+義歯等(回答者338人)】

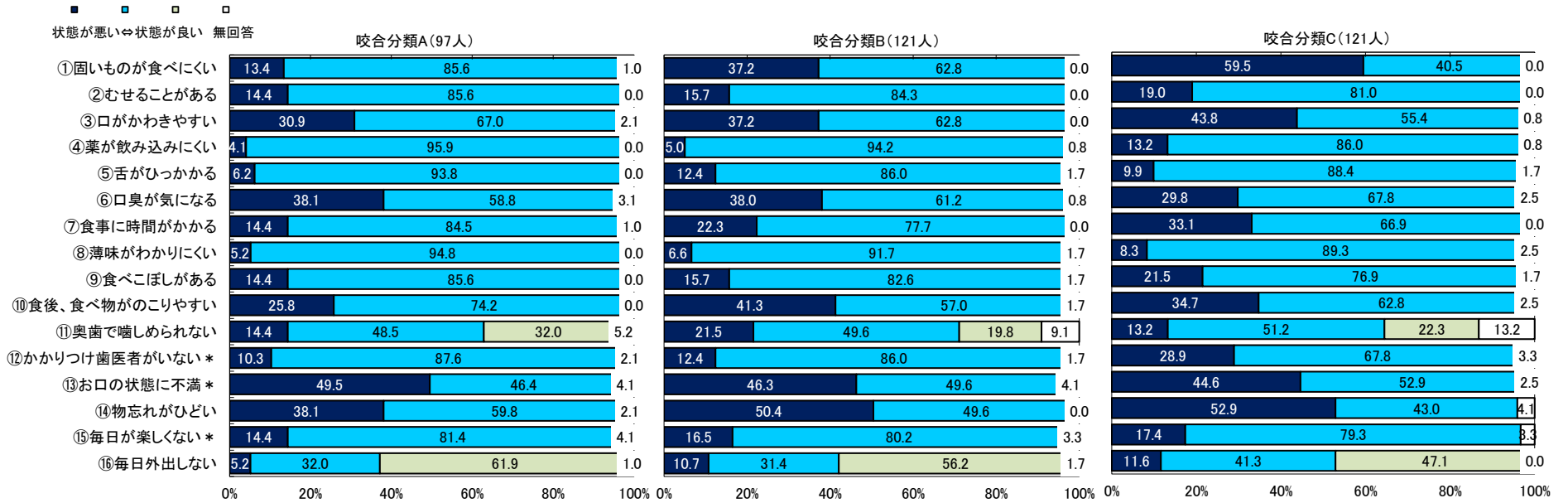


「ブリッジ及び義歯の装着」を含めると支持域がない人は、数名みられるが、A1が大幅に増えている。

③ 「噛み合わせ（自歯のみ）」度別の歯科健診票問診項目の回答分布

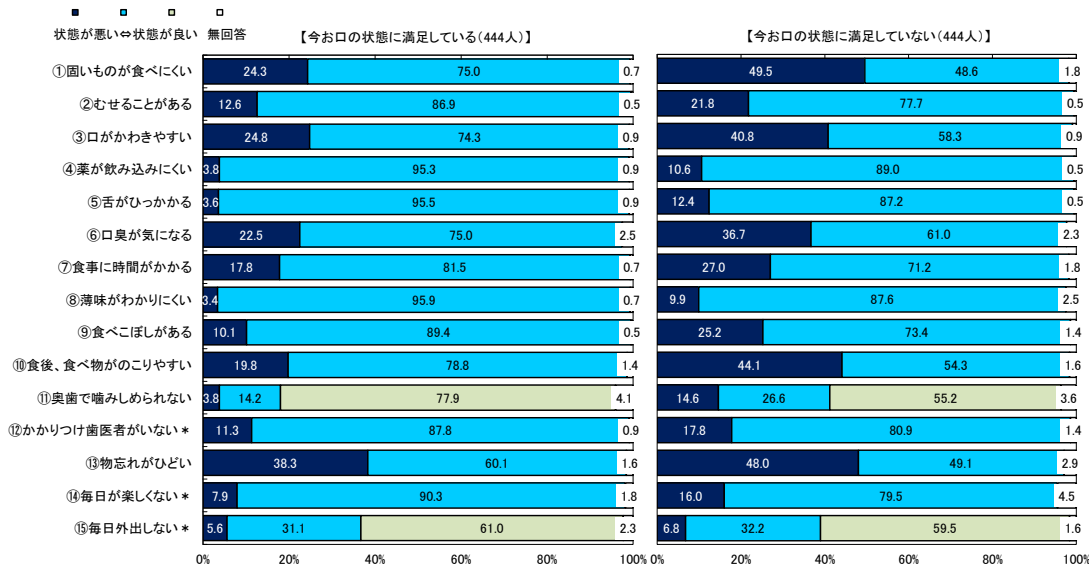
※「アイヒナーの咬合分類」により分類 A:4つの咬合支持域をすべて持つもの、B:咬合支持域が減少したもの、C:咬合支持域がないもの

● 歯科健診票問診項目の回答分布(噛み合わせ) 自歯のみ339人



● 口腔機能や食事の内容に加えて、支持域がない人のほうが「固いものが食べにくい」「口がかわきやすい」「薬が飲み込みにくい」「食事に時間がかかる」「食べこぼしがある」「かかりつけ歯医者がない」「物忘れがひどい」「外出しない」の割合が高い。

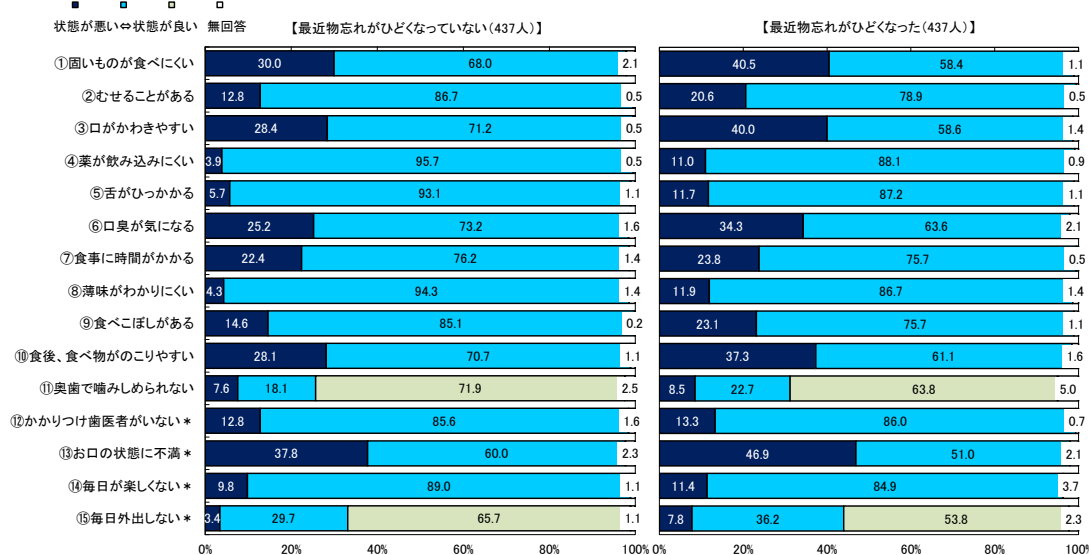
④ 「お口の満足度（満足している／満足していない）」別の歯科健診票問診項目の回答分布



●お口の状態に満足していない人ほど、状態が悪い。

- ・ 固いものが食べにくい
- ・ むせることがある
- ・ 口がかわきやすい
- ・ 口臭が気になる
- ・ 食事に時間がかかる
- ・ 食べこぼしがある
- ・ 食後、食べ物がのこりやすい
- ・ 奥歯で噛みしめられない
- ・ 物忘れがひどい

⑤ 物忘れの度合い別（ひどくならない／ひどくなった）の歯科健診票問診項目の回答分布

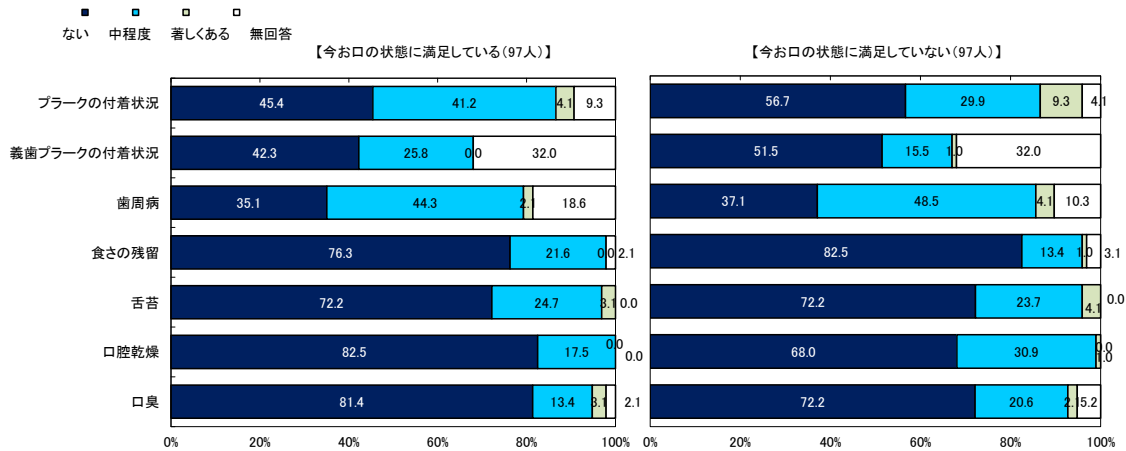


●物忘れとの関連がみられる項目

- ・ 固いものが食べにくい
- ・ 口がかわきやすい
- ・ 口臭が気になる
- ・ 食後、食べ物がのこりやすい
- ・ お口の状態に不満

※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が「同一年齢」で構成されるように再集計しています。

⑥ 「お口の満足度（満足している／満足していない）」別の口腔衛生状態の回答分布

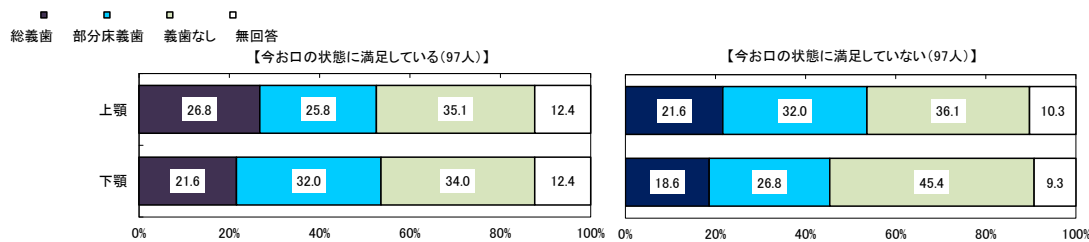


●お口の不満度との関連

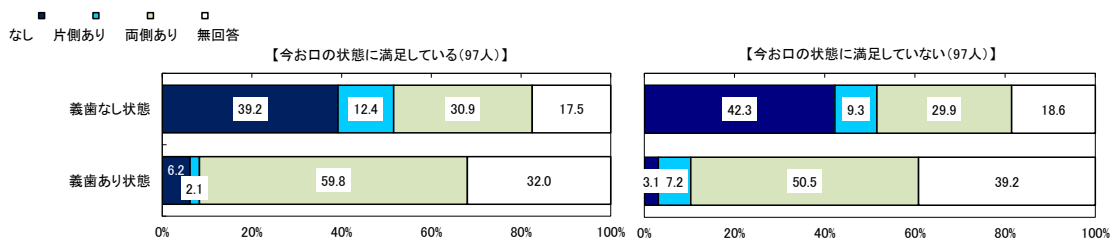
- ・歯周病
- ・口腔乾燥
- ・口臭

⑦ 「お口の満足度（満足している／満足していない）」別の歯の状態の回答分布

●義歯の状態



●臼歯部での咬合



●お口の状態に満足している人のほうが、上下ともに「総義歯」の割合が高い。

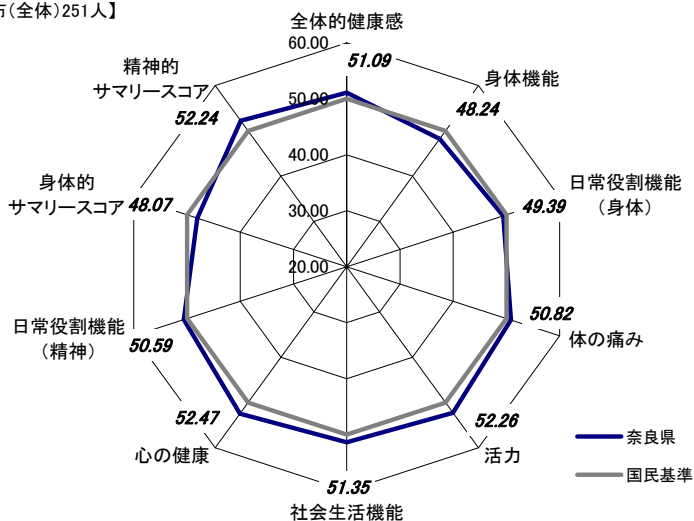
●お口の状態の満足・不満にかかわらず、義歯なし状態で臼歯部の咬合がない割合が3割を超えている。

※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が「同一年齢」で構成されるように再集計しています。

5 SF-8 によるアンケート調査の結果

① SF-8 の設問項目の回答分布（健康関連QOL得点の状況）

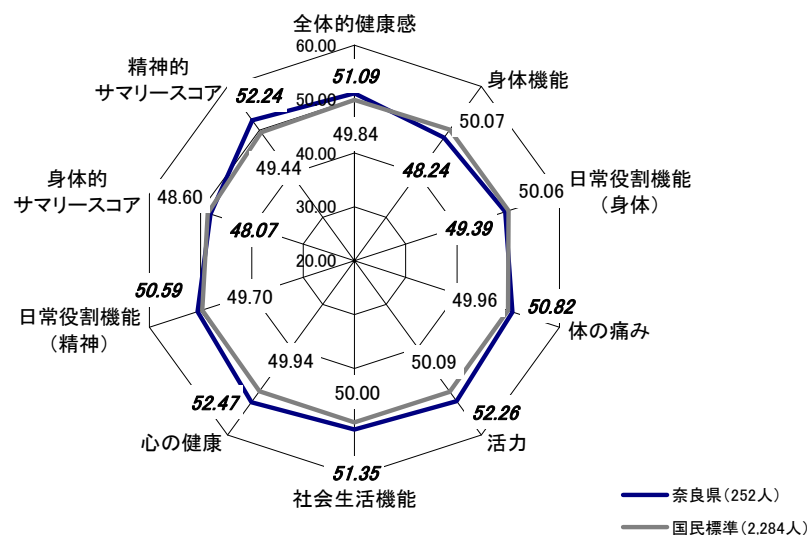
【SF-8の回答分布(全体)251人】



●全体的に50点を超えているが、「身体機能」「日常役割機能(身体)」で若干低くなっており、身体に関する項目から算定している「身体的サマリースコア」も48.07と低くなっている。

② SF-8 の設問項目の回答分布（健康関連QOL得点の状況 国民標準との対比）

●「全体的健康感」「活力」「心の健康」「精神的サマリースコア」において、奈良県の得点が国民標準を比較的大きく上回っている。一方、「身体機能」は奈良県が比較的大きく下回っている。



③ 口腔の状態と心身の健康状態（SF-8）との関係性

設問		身体的サマリースコア			精神的サマリースコア		
		平均点数	観測数	P値 ($p < 0.05$)	平均点数	観測数	P値 ($p < 0.05$)
①固いものが食べにくい	状態が悪い	47.14	81	P=0.14	52.4	81	P=0.74
	状態が良い	48.55	136		52.2	136	
②むせることがある	状態が悪い	49.21	29	P=0.31	50.4	29	P=0.06
	状態が良い	47.82	186		52.5	186	
③口がかわきやすい	状態が悪い	47.17	85	P=0.13	51.9	85	P=0.45
	状態が良い	48.64	129		52.5	129	
④薬が飲み込みにくい	状態が悪い	48.63	15	P=0.75	51.2	15	P=0.49
	状態が良い	48.04	199		52.3	199	
⑤舌がひっかかる	状態が悪い	52.71	20	P=0.28	50.5	20	P=0.32
	状態が良い	46.59	194		52.4	194	
⑥口臭が気になる	状態が悪い	47.90	73	P=0.89	51.6	73	P=0.25
	状態が良い	48.04	141		52.6	141	
⑦食事に時間がかかる	状態が悪い	45.16	55	P=0.002	49.9	55	P=0.003
	状態が良い	49.00	162		53.1	162	
⑧薄味がわかりにくい	状態が悪い	41.03	7	P=0.11	48.0	7	P=0.25
	状態が良い	48.25	208		52.4	208	

設問		身体的サマリースコア			精神的サマリースコア		
		平均点数	観測数	P 値 ($p < 0.05$)	平均点数	観測数	P 値 ($p < 0.05$)
⑨食べこぼしがある	状態が悪い	47.69	36	P=0.72	50.7	36	P=0.09
	状態が良い	48.14	177		52.5	177	
⑩食後、食べ物がのこりやすい	状態が悪い	47.34	67	P=0.24	50.7	67	P=0.01
	状態が良い	48.51	144		52.9	144	
⑪奥歯で噛みしめられない	状態が悪い	46.27	55	P=0.04	50.9	55	P=0.04
	状態が良い	48.49	152		52.9	152	
⑫かかりつけ歯医者がない*	状態が悪い	47.49	39	P=0.61	52.8	39	P=0.57
	状態が良い	48.19	175		52.2	175	
⑬お口の状態に不満*	状態が悪い	47.69	96	P=0.42	52.0	96	P=0.65
	状態が良い	48.44	116		52.4	116	
⑭物忘れがひどい	状態が悪い	46.50	100	P=0.003	51.9	100	P=0.45
	状態が良い	49.37	114		52.5	114	
⑮毎日が楽しくない*	状態が悪い	43.60	23	P=0.01	49.6	23	P=0.09
	状態が良い	48.59	191		52.6	191	
⑯毎日外出しない*	状態が悪い	46.48	85	P=0.01	51.8	85	P=0.32
	状態が良い	49.04	130		52.6	130	

●身体的サマリースコアでは、「食事に時間がかかる」「奥歯で噛みしめられない」「物忘れがひどい」「毎日が楽しくない」「外出しない」で、精神的サマリースコアでは「食事に時間がかかる」「食後、食べ物がのこりやすい」「奥歯で噛みしめられない」でそれぞれ有意差がみられる。

6 歯科問診票及び口腔状態の設問、SF-8の設問一覧

問診票設問	口腔状態	SF-8の設問等
①固いものが食べにくい	プラークの付着状況	(1)全体的健康感
②むせることがある	義歯プラークの付着状況	(2)身体機能
③口がかわきやすい	歯周病	(3)日常役割機能(身体)
④薬が飲み込みにくい	食さの残留	(4)体の痛み
⑤舌がひっかかる	舌苔	(5)活力
⑥口臭が気になる	口腔乾燥	(6)社会生活機能
⑦食事に時間がかかる	口臭	(7)日常役割機能(精神)
⑧薄味がわかりにくい	上顎の義歯状態	(8)心の健康
⑨食べこぼしがある	下顎の義歯状態	以下の項目は追跡調査で追加
⑩食後、食べ物がのこりやすい	義歯なしでの臼歯部の咬合	(9)歯みがき回数
⑪奥歯で噛みしめられない	義歯ありでの臼歯部の咬合	(10)歯科健診の状況
⑫かかりつけ歯科医がない		(11)生活習慣における変化
⑬お口の状態に不満		
⑭物忘れがひどい		
⑮毎日が楽しくない		
⑯毎日外出しない		